

科目名	臨床栄養学Ⅱ	科目分類	<input type="checkbox"/> 基礎教育科目 <input checked="" type="checkbox"/> 専門教育科目
			<input type="checkbox"/> 卒業必修 <input checked="" type="checkbox"/> 栄養士必修 <input type="checkbox"/> 選択
英文表記	Clinical Nutrition Ⅱ	開講年次	<input type="checkbox"/> 1年 <input checked="" type="checkbox"/> 2年
ふりがな	ちだ まどか	開講期間	<input checked="" type="checkbox"/> 前期 <input type="checkbox"/> 後期 <input type="checkbox"/> 通年 <input type="checkbox"/> 集中
担当教員名	千田 茉登佳	授業形態・修得単位	講義・2単位
		実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面のみ <input type="checkbox"/> 遠隔のみ <input type="checkbox"/> 対面・遠隔併用
		実務家教員担当科目	○
授業のテーマ	各疾患の病態を理解し、病態別の具体的な食事管理について学ぶ。		
授業概要	病態に応じた適切な食事管理を中心とした栄養管理を実践するために必要な知識や技術について解説する。各疾患の病態に適した具体的な食事管理を中心とした栄養管理を理解する。病院での実務経験（管理栄養士）を活かし、栄養食事療法の実際や症例などを紹介しながら進める。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・病態別の食事管理を中心とした栄養管理について理解し、説明できる。 ・臨床栄養に関する知識・理論を学びより深く問題を探求しようとする態度を身につける。 		
授業時間外の学習	授業終了時に示す課題について、毎週レポートを作成すること。		
履修条件	特になし。		
授業計画			
第1回	テーマ：「消化器疾患（1）」口腔疾患、胃腸疾の栄養管理		
第2回	テーマ：「消化器疾患（2）」肝・胆・膵疾患の栄養管理、外科・内科的治療		
第3回	テーマ：「内分泌疾患・代謝（1）」脂質異常症及び高尿酸血症・痛風の栄養管理		
第4回	テーマ：「内分泌疾患・代謝（2）」糖尿病の栄養管理		
第5回	テーマ：「内分泌疾患・代謝（3）」糖尿病食事療法のための食品交換表の見方、食事計画		
第6回	テーマ：「栄養障害」飢餓、PEMの栄養管理 「運動器系疾患」骨粗鬆症、サルコペニアの栄養管理		
第7回	テーマ：「循環器疾患（1）」高血圧症の栄養管理		
第8回	テーマ：「循環器疾患（2）」動脈硬化症の栄養管理		
第9回	テーマ：「循環器疾患（3）」脳血管障害及び脳卒中の栄養管理、摂食嚥下調整食 「呼吸器疾患」慢性閉塞性肺疾患の栄養管理		
第10回	テーマ：「腎疾患（1）」慢性腎臓病、糖尿病性腎症及び慢性腎不全の栄養管理		
第11回	テーマ：「腎疾患（2）」腎臓病食事療法のための食品交換表の見方、食事計画		
第12回	テーマ：「腎疾患（3）」透析の栄養管理		
第13回	テーマ：「血液系疾患」貧血の栄養管理		
第14回	テーマ：「食物アレルギー」食物アレルギーの栄養管理		
第15回	テーマ：「小児疾患、妊産婦・授乳婦疾患、高齢者疾患」先天性代謝異常の栄養管理、妊娠高血圧症候群及び妊娠糖尿病の栄養管理、摂食嚥下困難及び褥瘡の栄養管理、緩和ケア		
第16回	定期試験		
テキスト	佐藤和人他 エッセンシャル臨床栄養学 第9版 医歯薬出版 糖尿病食事療法のための食品交換表 第7版 文光堂 腎臓病食品交換表 治療食の基準 第9版 医歯薬出版		
参考文献・資料	本田佳子編集 ヴィジュアル栄養学テキスト 臨床栄養学Ⅱ各論 中山書店		
成績評価の方法	出席回数が規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試験を受けることができません。定期試験60%、レポート等の課題40%を基本として総合的に評価する。		
成績評価基準	秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)		
オフィスアワー	1・2年生：火曜12時30分～14時40分		
受講生に望むこと・受講のルール	レポート課題は授業内又は掲示板（ポータルサイト含む）で指示しますので、期日までに必ず提出するようして下さい。		